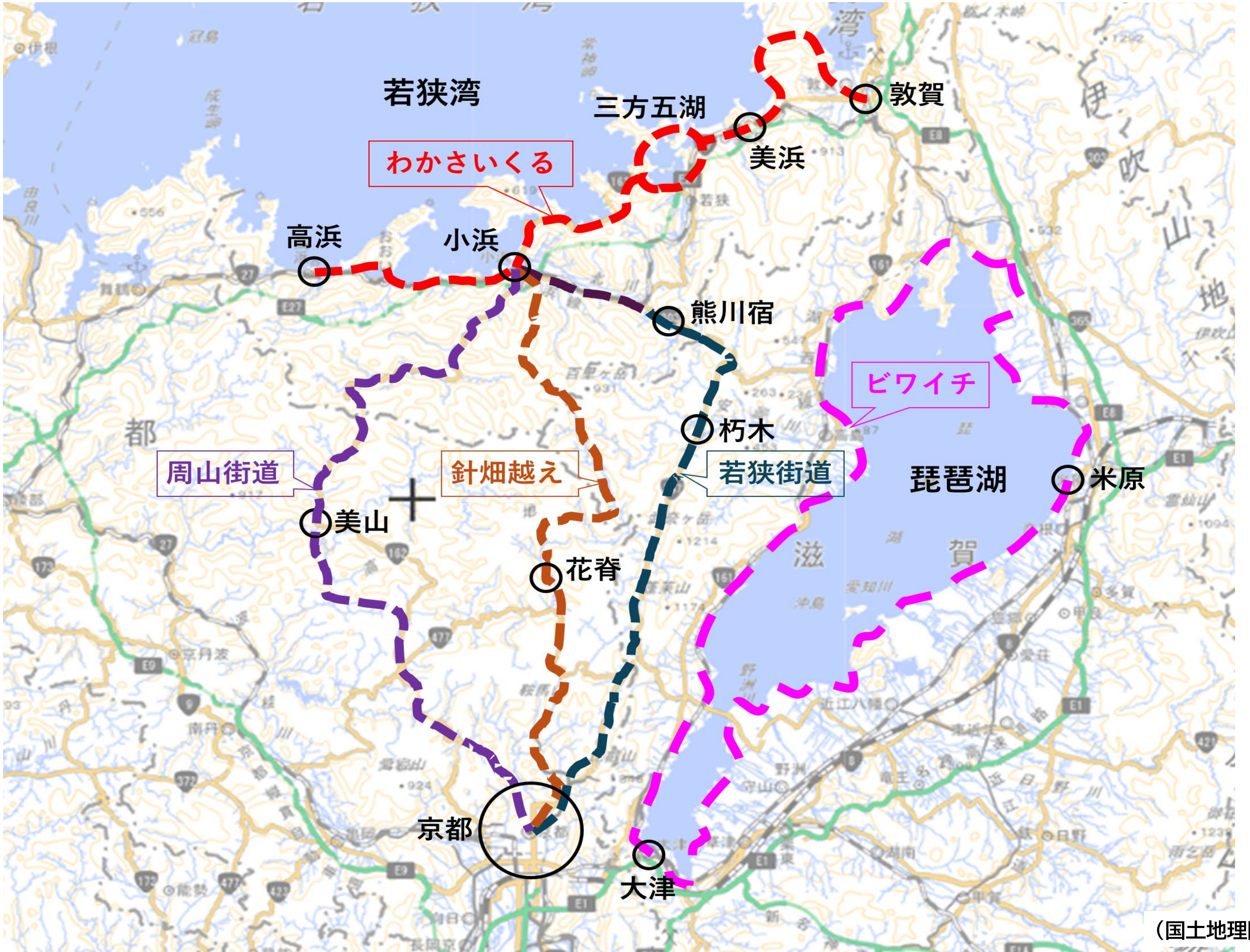
Japan Project-Industry Council

サバ街道サイクリングを基軸とした 畿北地域の再生・活性化

JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会
畿北ブロック総合開発ワーキンググループ

Ⅰ．対象とする地域



（国土地理院地図を加工）

Ⅱ．現状の課題

■高齢化、人口減少、過疎化による衰退

- ・京都中山間地には美しい森林や清流、歴史ある寺社を持つ里山の景観
- ・内外に知名度がないため来訪者が少なく嶺南地域との連携効果が弱い
- ・公共交通サービスが十分でなく道路も狭隘でサービス機能が弱い

Ⅱ．現状の課題

■サイクリストを惹きつける魅力が十分とは言えない

- 計画が進むがルート自体の魅力度発信が十分とは言えない
- 素晴らしい自然景観を活かしたアピール度の高い路線計画が必要
- サイクルステーションなどのサービス機能整備が十分とは言えない

Ⅱ．現状の課題

■「わかさいくる」「ビワイチ」とのネットワークが十分とは言えない

- ・「ビワイチ」は景観や走りやすさで既に認知度の高い人気のルート
- ・「わかさいくる」は素晴らしい里海の景観が魅力で注目される
- ・サバ街道の認知度向上、活性化には両ルートと連携した誘客策が必要

写真提供：TABIRIN

Ⅱ．現状の課題

■沿道の地域づくりが十分とは言えない

・サイクリングルートの沿道には高齢化が進み衰退する集落が多数存在
・サイクリストに魅力ある立ち寄り・地域づくりの交流拠点（溜まり）が必要
・十分に利用されていない既存施設の有効活用を図る必要あり

Ⅲ. 海外の事例【ユーロヴェロ】

スイス：ベルニナ峠

Ⅲ．参考事例：ユーロヴェロ

Japan Project-Industry Council

・小さな村が多数あり特産の料理、清楚なホテルでサイクリストを誘客
・主要な観光都市とは異なり自転車ネットワーク効果で集客に成功
・ネットワークで結ばれた小さな集落で構成される地域全体が活性化

Ⅳ　提言１（その１）「サバ街道」サイクリング道路

雲海を望む絶景「針畑越え」を再整備

- ■県境の「おにゅう峠」からの雲海展望を活かした施設の設置
- ■森林浴を楽しみながら雲海が望める特徴を内外にアピール

「サバ街道」サイクリング道路完成イメージ

提言１（その２）「わかさいくる」の魅力向上

壮大な景観を活かす工夫で魅力向上

■三方五湖にシンボリックな橋梁構築
「三方五湖PA」「小浜線」から眺望できる象徴的な橋梁を整備

■海岸線沿いのルートの整備
湖面だけでなく壮大な若狭湾を望めるルートや案内表示を含め再整備

三方五湖の水辺を活かしたサイクリング道路の完成イメージ

提言１（その３）　関連施設整備によるグレードアップ

（１）サイクルステーション

写真提供：TABIRIN

（２）休憩施設

写真提供：TABIRIN

提言１（その４）　ネットワーク化によるグレードアップ

■サバ街道周辺のルートとの連携によるネットワーク化

・複合的なルート設定、長期滞在のサイクリングを誘発
　「ビワイチ」と「わかさいくる」さらに「富山湾岸サイクリングコース」との連携
・「京奈和自転車道」を経由で「太平洋岸自転車道」とネットワーク化

わかさいくる

富山湾岸
サイクリング
コース

サバ街道
ルート

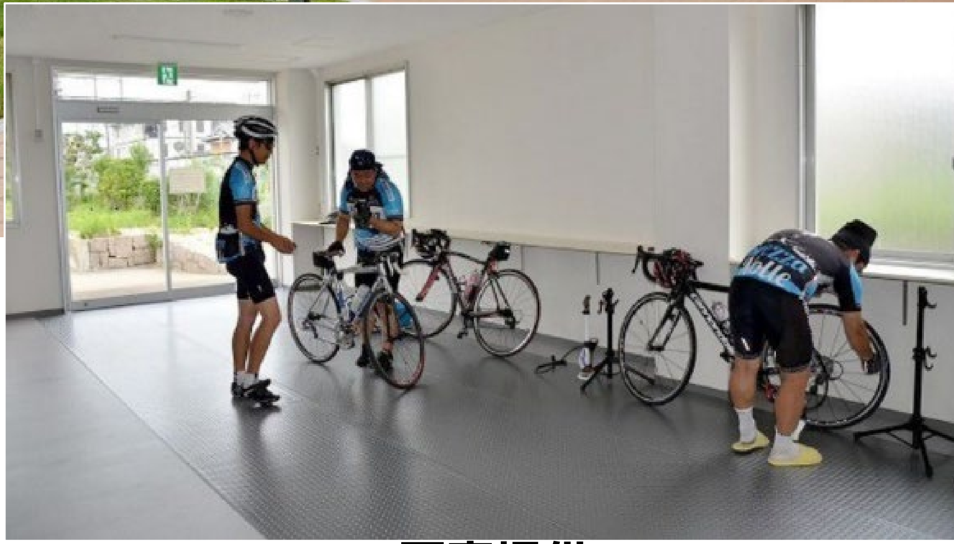
太平洋岸
自転車道

ビワイチ

写真提供：
TABIRIN

提言２（その１）「沿道の地域づくり拠点（溜まり）整備」

■交通拠点：
　サイクリング、公共交通、駐車場（車⇒自転車、ウォーキング）
■文化ホール：
　交通拠点と併せ、音楽・演劇・美術などの文化的木造ホール整備



写真提供：TABIRIN

地域づくりの拠点のイメージ

提言２（その２）　古民家再生による地域づくり

・沿道には茅葺屋根の家屋の集落、古刹や料亭などが数多く点在
・サイクリングや街道歩きのための、古民家を活かした「地域づくり」

写真提供：TABIRIN

Japan Project-Industry Council

Ⅴ．本事業の意義及び今後の活動課題

①国内外先進事例研究（ユーロヴェロ、しまなみ海道等）
・国内外の事例を参考に国・自治体と民間の役割分担を検討

②地元機運醸成
・地元経済界や商工会議所の支援
・世界大会などの招致
・JRとの連携（サイクルトレイン、サイクルステーション整備）

③世界への発信
・しまなみ海道サイクリング道路の事例などを研究
・サイクルツーリズム先進企業との協働

④整備効果の検討（概略事業計画の策定）
・事業効果算定